

## Information

### 学会・掲載雑誌名等 発表記録

発表期間2025年1月～3月

| 学会・掲載雑誌名等                               | 発表日           | 開催地      | 演 題 名                                                                                                                                                                                                               | 部署／発表者名              |
|-----------------------------------------|---------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 高知高須病院糖尿病教室                             | 1月11日         | 高知県      | 糖尿病と眼の合併症 ～糖尿病網膜症を中心に～                                                                                                                                                                                              | 医 局／吉本 幸生            |
| 施設-在宅を支援する<br>看護師育成研修シンポジウム             | 2月8日          | 高知県      | 退院困難と思われた患者の在宅移行を支援して<br>～病院薬剤師の立場で～                                                                                                                                                                                | 薬剤部／堀切 雅子            |
|                                         |               |          | 退院困難と思われた患者の在宅移行を支援して<br>～病棟看護師の立場から～                                                                                                                                                                               | 看護部／筒井 夏子<br>松井 牧子   |
|                                         |               |          | 退院困難と思われた患者の在宅移行を支援して<br>～退院支援看護師の立場で～                                                                                                                                                                              | 看護部／橋村 彩             |
|                                         |               |          | 退院困難と思われた患者の在宅移行を支援して<br>～医療ソーシャルワーカーの立場から～                                                                                                                                                                         | 地域連携室／藤田 真依          |
| 令和6年度 第5回<br>感染向上対策加算カンファレンス            | 2月19日         | 高知県      | 高知高須病院の取り組み                                                                                                                                                                                                         | 医 局／大田 和道            |
| 第51回 高知県透析研究会                           | 2月23日         | 高知県      | 透析低血圧と業務負担                                                                                                                                                                                                          | 臨床工学部／濱田 あすか         |
|                                         |               |          | MLT-600NIにおける透析分析モードの有用性について                                                                                                                                                                                        | 臨床工学部／川上 美紀          |
|                                         |               |          | PD患者における遠隔通信医療への取り組み                                                                                                                                                                                                | 臨床工学部／保木 宏文          |
| NPO高腎会 東部ダバリー会                          | 3月9日          | 高知県      | 慢性腎臓病患者の薬物療法                                                                                                                                                                                                        | 薬剤部／堀切 雅子            |
| 第15回 日本腎臓<br>リハビリテーション学会学術集会            | 3月15日<br>～16日 | 神奈川県     | 運動意欲低下によって透析中運動療法を脱落した症例に対し、<br>応用行動分析的介入を行った結果について                                                                                                                                                                 | リハビリテーション部／<br>北村 翔太 |
| The Keio Journal of Medicine<br>(英文学会誌) | 3月26日         | 論文<br>掲載 | Poorly Differentiated Carcinoma with only Clear Glandular<br>Differentiation Arising from the Bladder Trigone:A Case of<br>Adenocarcinoma or Urothelial Carcinoma?<br>(膀胱三角から生じる明確な腺分化のみを伴う低分化癌:腺癌<br>または尿路上皮癌の症例?) | 医 局／古道 丈             |

### クラブ活動報告 大会成績

#### ゴルフ部

##### 【第58回 TEAMきずな杯】

■日時／2025年7月5日(土)  
■場所／Kochi黒潮カントリークラブ  
(太平洋・暖流コース)

優勝 中野 知夏(ゲスト)

準優勝 洲脇 充  
(ゲスト)

3位 濱岡 嘉一  
(ゲスト)

4位 中野 留美子  
(ゲスト)

5位 宅間 大祐  
(ゲスト)



#### 野球部

##### 【夜さこい野球大会 壮年の部1回戦】

■日時／2025年6月2日(月)

高須病院ダイアライザー vs Overライナース

|             | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 計 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 高須病院ダイアライザー | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Overライナース   | 1 | 2 | 1 | 3 | × |   | 7 |

##### 【病院対抗リーグ】

■日時／2025年7月27日(日)

検診クリニック vs 高須病院ダイアライザー

|             | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 検診クリニック     | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 7 |
| 高須病院ダイアライザー | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 |

#### 編集後記

毎年実施される患者満足度調査結果にて  
患者様一人一人から貴重なご意見をいただき  
ました。いただいたご意見を参考にさせて  
いただきこれからも患者様が安心・安全に当  
院を受診することができるよう職員一同精進  
してまいります。まだまだ暑い日が続きます  
ので皆様体調にはお気を付けください。

(広報委員会／山下)



尚腎会  
2025年8月の診療実績

○外来患者数／2,898人 ○紹介患者率／34.6% ○新入院患者数／74人  
○退院患者数／83人 ○平均在院日数／21.2日 ○病床利用率／79.8%

 高知高須病院  
医療法人 尚腎会

■院内広報誌「ふれあい」 vol.117 ■発行日／2025年10月25日  
■発行所／高知高須病院 高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377  
■http://www.takasuhp.or.jp ■発行人／池辺弥夏 ■編集／広報委員会  
■印刷所／(有)三宮印刷 高知市潮新町2-14-8

右記のQRコードより、  
高知高須病院の携帯  
サイトに簡単アクセス!



# ふれあい

## 高知高須病院 院内広報誌

### 10月号 2025 vol.117



栄養サポートチーム

#### 目次

## Takasu Topics NST(栄養サポートチーム)のご紹介

- 臨床工学部  
副部長昇任のご挨拶
- 日本透析医学会学術集会
- TAKASUじんリハラボ
- 外来患者満足度調査
- 分院だより
- ピラティス教室
- すすめエッセイ
- 新再来受付機

- そらまめ教室
- 職場探訪
- ニューフェイス紹介
- ご結婚・ご出産  
おめでとう
- 学会・掲載雑誌名等  
発表記録
- クラブ活動報告

#### 理念

患者さんの良き理解者、援助者となり、  
より良い医療を提供します

1. 患者さんの立場を理解し、暖かい心、豊かな心で、  
患者さんの立場に立った医療を実践します
2. たゆみない知識の習得と技術の向上に心がけ、  
患者さんに還元します
3. 清潔で快適な環境を提供します
4. 柔軟性を持って、互いの連携と協調に努めます
5. 情報の確保に努め、進取の精神を持って  
創造と実践を心がけます

# NST (栄養サポートチーム)のご紹介

## 当院の栄養治療の取り組み

胃腸内科部長  
川田 愛 (かわだ あい)



NST (Nutrition Support Team; 栄養サポートチーム) は患者さんに適切な栄養治療を行うことを目的とした医療チームです。今回は当院のNSTとその活動についてご紹介します。

昨今の高齢化社会では患者さんご本人が気付かないうちに低栄養に向かっているというケースが多数みられ、当院に通院されている多くの透析患者さんも決して例外ではありません。

低栄養になると疾病や創傷の治癒が遅延したり、合併症が増加したり、いわゆるフレイルサイクルの悪循環に陥ってしまうことなどに繋がります。私個人の臨床経験でも急性期疾患・癌を含む慢性疾患・終末期とさまざまな場面で「食べることは生きること」であると痛感していました。

そこで、すでに低栄養状態の方はもちろん、「なんとなく」食べる量が減った・痩せてきたなど低栄養のリスクがある患者さんを早期に拾い上げて積極的な栄養サポートを行うべく、2024年12月から新たなチームで活動を開始しました。メンバーは医師・管理栄養士・看護師(各透析室・病棟)・薬剤師・作業療法士・臨床工学技士・有料老人ホームはるか職員で、対象は入院患者さん・外来透析患者さん・はるか入居者様です。

活動としては週1回のカンファレンスで低栄養の可能性のある方の状態評価を行い、個々の患者さんに対する適切な栄養治療について多職種で検

討しています。また、すでに栄養治療介入中の方のフォローアップも行っています。

様々な職種の視点から評価することで患者さんの全体像や療養上の問題点を把握することに努めており、栄養治療だけでなく薬剤の調整やリハビリテーション、透析条件の変更を提案することもあります。また、院内の幅広い職員に栄養への興味を持ってもらうため、定期的な勉強会も開催しています。

今後も栄養治療を通して患者さんの予後を改善し、おいしく食べられて心身ともに穏やかな生活を過ごす手助けになることを目標に、地道に活動していこうと思っています。



研修風景

### 介入までの流れ

病棟・透析患者のスクリーニング

対象患者を選定

情報収集

- 生活背景
- 活動量
- 食事内容
- 歯の状態
- 採血データ
- 福祉・サービス

NSTでカンファレンス

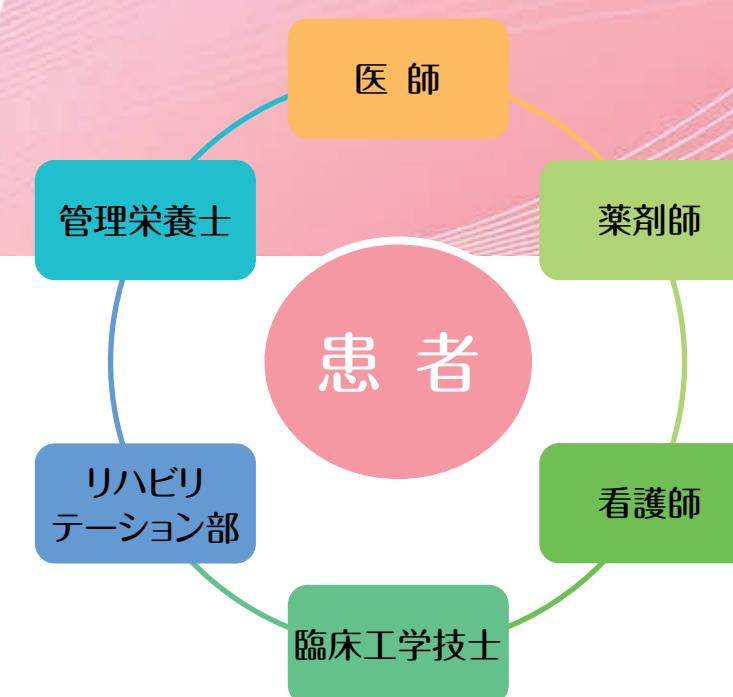
方針決定

経過観察、確認



カンファレンスの様子

### チーム医療・多職種連携



#### 【役 割】

##### 医 師

- 患者さんの病態・全身状態の評価

##### 薬剤師

- 食不振の原因になりうる薬剤がないか確認
- 点滴内容が適正か確認

##### 看護師

- 患者の全体的な経過の報告、アセスメント
- 処置の提案

##### 臨床工学技士

- 体組成計のデータに基づいた栄養状態やリハビリ関連の評価

##### リハビリテーション部

- リハビリ負担と栄養摂取量のバランスチェック・提案

##### 管理栄養士

- 栄養状態や摂食状態に応じた栄養療法の提案
- 現在の摂取栄養量の概算と栄養目標量の算出・記載

#### 【NST介入目的】

##### ●栄養状態の改善

- 治療効果の向上
- 感染症などの合併症予防
- 生活の質向上



## 臨床工学部 副部長昇任のご挨拶

臨床工学部 副部長 仙頭 正人(せんとう まさと)

2025年4月より、臨床工学部副部長を拝命いたしました仙頭正人です。これまで透析治療を中心に、医療機器の管理や技術支援を通じて患者さんの治療に携わってまいりました。

今後は副部長として、医師や看護師、スタッフと連携しながら、安全で質の高い医療の提供に努めるとともに、医療現場のデジタル化(DX)や新規技術の導入にも積極的に取り組み、より良い医療環境づくりを進めてまいります。

臨床工学技士は、透析装置をはじめとする生命維持管理装置の専門職として、その適正使用と安全管理を担い、医療チームの一員として活動しています。

現在グループ全体で59名が在籍し、高知高須病院、附属安芸診療所、室戸クリニックの3施設で、約750名の透析患者さんに対し、個々に適した透析治療を提供しています。

また、腹膜透析や透析中運動療法、バスキユーラアクセス管理、手術支援ロボット「ダビンチ」等の医療機器を用いた手術補助など、業務の幅も広がっています。

患者さんのよき理解者・援助者となり、よりよい医療を提供していけるよう、引き続き努力してまいります。今後ともどうぞよろしく願いたします。

## 第70回

## 日本透析医学会学術集会 総会に参加して

## 持続可能な医療提供を 目指して

管理部 経営財務課 課長 門田 和世(かどた かずよ)

第70回日本透析医学会学術集会に参加しました。

今回はSDGsや環境負荷削減をテーマにした「Green Dialysis」に関する講演が印象的でした。透析医療が地球環境に与える影響やそれを減らすための具体的な提案を学び、大変勉強になりました。

また、当院でも活用している透析機器の機能を活かしたコスト削減の取り組みや成果の発表もあり、とても興味深かったです。さらに当院臨床工学技士の発表内容について「大変いい研究ですね!」とお褒めの言葉をいただいていた。当院のレベルの高さや規模の大きさを実感しました。

地域連携や災害時対策についても勉強させていただきました。透析医療が抱える課題はたくさんありますが、この学会での学びを日々の業務に活かし、持続可能な医療提供を目指していきたいと思います。



著者の門田課長(右端)

## 第1回 TAKASU じんリハラボ! ～ 学ぶ・動く・気づく1日～



日時: 2025年7月27日(日) 10:00～11:00  
場所: 4Fリハビリテーション室  
題目: 第1回 TAKASUじんリハラボ! ～学ぶ・動く・気づく1日～  
内容: 講義…なぜ透析中に運動をした方がいいのか  
体験…検査測定、運動体験



## 透析リハチーム初の対外イベント!

リハビリテーション部 理学療法士 寺井 祥央(てらい やすひろ)



リハビリテーション部のこれまで透析リハに関する取り組みとして、職員に向けた勉強会や運動体験を行ってきました。そして「今年は患者さんに向けたイベントをやってみよう」と言うことでこのイベントを行いました。

当日はリハビリストッフより、なぜ透析中に運動した方がよいのか、運動を行うことのメリット、行わないことのデメリットをお伝えし、当院ではどのような取り組みを行っているのかを紹介させていただきました。また実際に足の筋力やバランス能力等の身体評価を行い、各年代の平均値とご自身の結果の比較を行ってもらい、筋力が弱っていないか、転倒のしやすさなどを共有しました。

さらに運動体験では透析中に実際に行っている運動を体験して頂き、個々に身体状態に合わせた運動を行うことが出来るというもお伝えしました。時折、参加者の皆さんの笑顔も見られ、賑やかな雰囲気イベントが進行出来ました。

終了後のアンケートでは、ほとんどの方が「また参加したい」と回答して下さり、少しでも運動への興味を持って頂けたのではないかと感じております。

今回、講義の中で「腎臓リハビリテーション」を紹介しましたが、日本腎臓リハビリテーション学会では「運動療法・食事療法・水分管理・薬物療法・教育・

精神・心理サポートなどを行う長期にわたる包括的なプログラム」と定義しています。

今回は運動療法に着目してイベントを行いました。あくまでも腎臓リハビリテーションの中の1つにすぎません。今後は多職種がそれぞれの「強み」を活かした取り組みを行うことで、患者さんの良き理解者、援助者となり、より良い医療を提供できるのではないかと思います。

今回の運用やアンケート結果を参考にしながら、今後も魅力的なイベントを開催できるよう、内容のブラッシュアップを進めていきます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

当日は参加して頂いた患者様、そして、企画運営にご協力頂きましたスタッフの皆様にも感謝申し上げます。

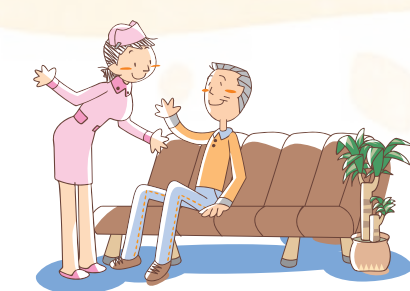


# 2025

## 外来患者満足度調査

当法人では理念である

「患者さんの良き理解者、援助者となり、より良い医療を提供します」の実現のため、看護部による「患者満足度調査」を毎年実施しています。今回は外来での調査について、設問の一部ではありますがご報告いたします。



### 接客・設備に高評価 今後の課題は待ち時間の改善

山本 芳江 (やまもと よしえ)

※執筆当時は外来師長、現在は患者支援センターへ異動。

毎年7月に外来患者満足度調査を実施しています。今年も7月に778名の患者さんにアンケート調査を依頼し548名の方から回答を得ました。

質問は、外来の設備・職員の接客等7つのカテゴリで25項目あり大変満足・満足・どちらとも言えない・不満足・大変不満足・5段階で評価をしていただきました。

職員の接客では、8職種中4職種が大変満足・満足が80%以上で昨年よりやや上昇していました。患者さんに接する機会が多い、医師、看護師、受付に対する満足度が高かったです。

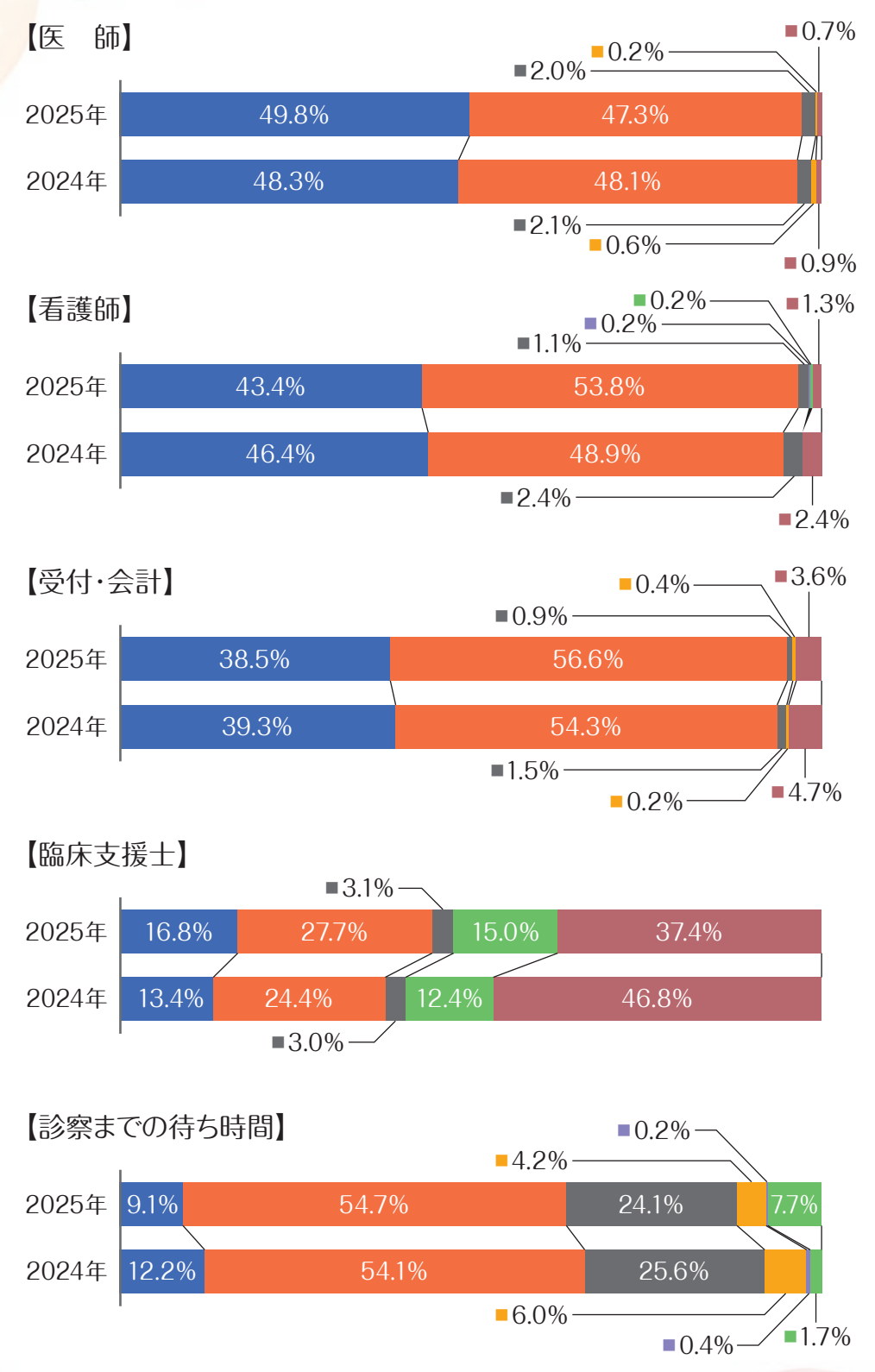
し・無回答となっていました。患者さんと直接的な関りが少なく、職種の知名度も低いのではないかと考えます。

外来の設備に関しては、90%以上の方が大変満足・満足と回答していました。

診察までの待ち時間では、不満足・大変不満足が4.4%と回答していました。日々、待ち時間短縮に向けて取り組んでいますが、「待ち時間がもっと短くなれば」「待ち時間が長い」とご意見をいただいています。このことから今後も待ち時間改善に向けて取り組んでいきたいと思っています。今回いただいた貴重なご意見をもとによりよい医療が提供できるよう努力していきたいと思っています。

### 職員の接客

[ 凡例 ■ 大変満足 ■ 満足 ■ どちらとも言えない ■ 不満足 ■ 大変不満足 ■ 該当なし ■ 無回答 ]



**調査概要**  
 期間／2025年7月14日～2025年7月18日  
 対象／上記期間内に来院された外来患者さん  
 人数／778名(回答数548名、回収率70%)

## 分院 だより

# 安芸分院、室戸分院での栄養士の関わり ～ 外来CKD、血液透析の栄養指導 ～

管理栄養士 副主任 村岡 風子(むらおか ふうこ)

当院には現在、4名の管理栄養士が在籍し、分院には常駐の栄養士はおりませんが、本院から定期的に訪問しています。外来血液透析患者さんの直近の検査データを基に栄養指導を実施し、中でもリンやカリウム、体重増加の指導が多いです。画一的な栄養指導はせず、身長・DW・年齢や生活背景を意識し指導をしています。食事量の少ない方には栄養補助食品を提案し、購入の希望があれば本院で注文し分院に届けています。

CKD外来の患者さんへの栄養指導は、外来受診時に看護師にお声かけいただければ予約が可能です。食事の改善策や今後の提案をしますが、継続できないと意味がありません。1回の指導で完璧に実施することは難しく、継続して

来て頂くことが理想ですが難しいのが実情です。それは本院での外来栄養指導も同様です。

今後分院への訪問回数も増え、より充実した栄養指導を提供できるよう努めてまいります。



上段左から：村岡副主任、稲垣  
下段左から：山本、井上

分院の患者さんの食事療法を支えるためこれからも真摯に業務に取り組んでまいります。

私たち  
管理栄養士です！

## ピラティス教室始まりました!!

看護部長 安井 美恵(やすい みえ)

2025年の事業計画で「心身の健康を保つ」が立案され、中期経営計画の1つとして「職場環境ワーキンググループ」が発足し、その活動の一環として池辺理事長発案で、4月より月1回(安芸診療所では奇数月開催)インストラクターの平石恵美子先生をお迎えして、終業後の1時間、ピラティス教室が始まりました。

ピラティスとは、体幹を鍛え、体のバランスを整えるエクササイズです。インナーマッスルを意識した動きで、姿勢改善、柔軟性向上、筋力アップ、ストレス軽減などの効果が期待できます。7月までに計4回、延べ54名の方に参加していただきました。

参加者からは大変好評で、難しい動きはないですが効果は実感していただいております、リピーターもいます。



美ボディを目指す職員の皆さん

インストラクター  
平石恵美子先生

皆さんのご参加  
お待ちしております！

## すすめエッセイ 04

# 医療の進歩とAI(人工知能)の介入

高知高須病院 名誉院長 堀見 忠司(ほりみ ただし)



AI(人工知能)の進歩は、すさまじいものがあり、人間が行っている様々な業務を代行すると言われているが、日進月歩する医療界においてもAIの導入によって、目を見張る進歩が報告されている。

また、最近、2025年(令和7年)4月30日に発刊の高知新聞に『日本人向け医療AI公開へ政府主導で開発問診から病名候補』の記事が掲載され、法的にも医療界にAIが入ってきた。

また、一方、世界保健機構(WHO)は、AIをはじめとするテクノロジーの加速度的な発展のために多くの人間は、その進歩についていけなくなり、人類は失敗に遭遇する頻度が高まり、大きな変化が起こるものと予想している中で『2030年に、人類を最も死に至らしめる病気は「うつ病」』と予測した。そのようにAIの進化は、医療関係以外でも、すでに大きな社会的変化を生じているが、医療界に与える予想としては、社会的な医療関係職員の雇用や病院形態にも大きく影響を与えることは必須であり、革命とも言える自体が起こっている。

例えば、CT、MRI、エコーや内視鏡の画像診断、臨床の医科医師、歯科医師、薬剤師、看護師の業務、そして一般の健診や検診医療、救急医療、へき地医療、災害医療などにもAIが介入しており、これ

らは放射線科技師、検査技師、リハビリ技師、透析技師などのコメディカル・パラメディカルの医療従事者や医療事務職員などすべての分野で、AIが大きく関与してきている。これらは、今後、私達の仕事は、「AIに奪われる!」いや、「AIを使いこなせる人に奪われる!」とさえ言える。

このように大きく変わっているこれからの医療として、誰もが苦慮している我が国の少子化や高齢化、療養病床や一般病床の削除、介護医療院の新設、在宅医療の普及、訪問看護の推進、特定看護師の誕生などの整理と育成が問題となり、人類の今後に大きな命題を投げかけている。

そして最近のテクノロジーの進化は、「毎日AIの文字を見ない日がない」という時代に入っている。しかし、このAIは、人類の失敗に遭遇する頻度を高める不安も醸成する。人類が開発したAIは、これまでの初期からすでに生成AIに発展し、更に別種類のAIを開発し、AIエージェントは、特定のタスク目的を実行するAIを開発するだろうと予測される。そのような時代の中で、AIもどんどん進化して、腎不全医療界においても、いつか必ずAIによる透析も腎移植もなくてすむ新しい医療が出現することが期待される。

## 再来受付機が新しくなりました!(7月より)

管理部医事課 課長代理  
井口 理恵子(いぐち りえこ)

診察券を忘れても大丈夫。マイナンバーカードで受付ができます。

新しい受付機では、診察券をお忘れの方でも、☒マイナンバーカード☒予約表のバーコードで受付が可能です。

★当院では、外来患者さんの約半数が、マイナンバーカードを保険証として利用されています。

📍マイナンバーカードで受付すると、保険証確認と受付が一度に完了します!

ぜひ、マイナンバーカードを使って、スムーズに受付してみてください。





## そらまめ教室開催 実際に体験してみよう！

外来診療部 外来師長代理 井口 知恵 (いぐち ちえ)

2025年のそらまめ教室は池辺理事長の提案により、従来の講義形式に加えて「体験型」の教室を計画しました。6月14日は初回の「体験型教室」に患者さんとご家族、計11名に参加いただきリハビリ室での開催となりました。

作業療法士による「ちょっと運動してみん?～慢性腎臓病患者さんのリハビリテーション～」の講義では、坂本作業療法士の慢性腎臓病の基礎知識から運動療法の必要性についてのわかりやすい説明を聞いて、参加者はうなづいたり、メモをとった



体操をしている様子

り、真剣に聞いておられました。握力測定や開眼片脚立位時間の測定、ストレッチ、筋トレなどの実技になると、「よし、頑張る!」と靴を脱いで本気モードになる方、平均年齢以上の握力に喜ばれる方など、笑顔と活気溢れる教室になりました。

帰りには、「運動の仕方について具体的に教えていただき大変参考になりました」などの嬉しい感想をいただき大好評に幕を閉じました。

参加いただいた皆様ありがとうございました。



## 職場 探訪 25

### ICT 課

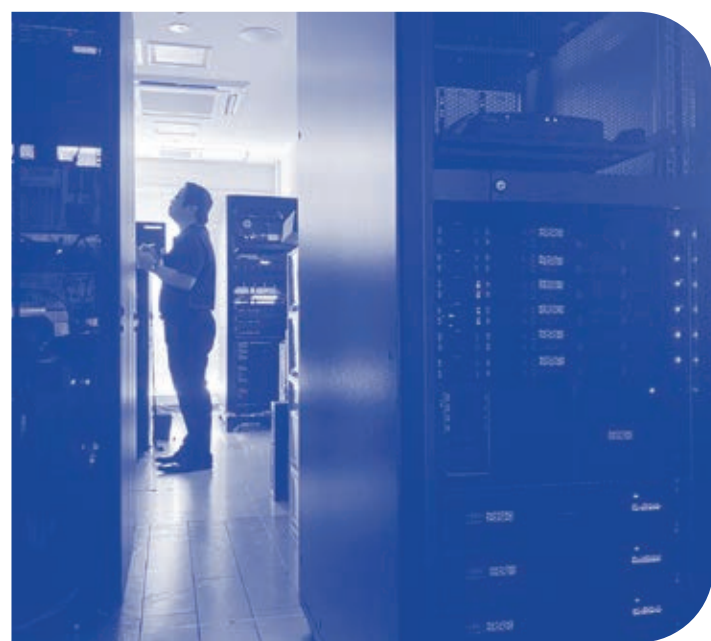
## ICT 課について

皆さんが日頃、何気なく使っている電子カルテや高須ネットなどのシステム。これらすべてを裏側から支えているのが、私たちICT課です。

管理部ICT課 主任 黒川 誠(くろかわ まこと)

ICTとは「情報通信技術 (Information and Communication Technology)」の略で、院内の情報システム全般を管理しています。具体的には電子カルテがスムーズに動くよう管理したり、院内のネットワークやパソコンのトラブルに対応したりしています。また、プリンターなどの各種IT機器のサポートも重要な業務です。皆さんが困ったときにすぐに駆けつけ、問題解決をしています。

そして何よりも大切なのが、情報セキュリティの強化です。患者さんの大切な個人情報を守るため、ウイルス対策や不正アクセス防止策を常に講じています。私たちの仕事は、皆さんの目に触れることは少ないかもしれませんが、医療従事者の皆さんがスムーズに業務を行えるよう、そして患者さんが安心して治療を受けられるよう、縁の下の力持ちとして病院を支えています。



## ICT課の仕事って?



## ニューフェイス紹介

2025年6月16日～2025年9月1日  
①趣味 ②病院の印象 ③自己PR ※部署別に掲載



透析室 看護師  
中城 唯希 (なかじょう ゆいき)

①体を動かすこと  
②院内が清潔で、丁寧な対応が印象に残りました。  
③日頃から運動しているので、体力には自信があります。よろしくお願いします。



透析室 看護師  
坂 由紀子 (ばん ゆきこ)

①習字  
②透析室の広さとベッド数の多さに驚きました。  
③3月に定年退職しました。一日も早くチームの一員となれるように頑張ります。



透析室 看護助手  
岡田 弘美 (おかだ ひろみ)

①散策、読書、韓ドラ鑑賞  
②明るく清潔感のある広い病院で驚きました。  
③「今できる事を一生懸命やる」をモットーに頑張ります。よろしくお願いします。



透析室 看護助手  
畑中 朱美 (はたなか あけみ)

①手芸  
②フロアも広く明るい感じがしました。  
③細かい作業をする事が好きです。手先が器用と人から言われています。



透析室 クラーク  
田中 絵美 (たなか えみ)

①水泳  
②透析室の広さに圧倒されました。全体的にゆったりとした空間のある病院。  
③分からない事、知らない事ばかりですが、何事も興味を持って頑張りたいと思います。



透析室 クラーク  
渡邊 あゆみ (わたなべ あゆみ)

①映画鑑賞、推し活  
②院内が明るく清潔で、職員の方々が丁寧で親切な対応がとても印象的です。  
③持ち前の明るさと社交性を活かし、日々学んで、早く仕事を覚えるよう頑張ります。



病棟 看護師  
早川 左千子 (はやかわ さちこ)

①旅行、スノーケリング  
②院内は明るく広々としており、職員の皆さんがとても親切で温かい雰囲気だと思いました。  
③4月に大阪から故郷の高知に戻り、透析という新しい分野で知識と技術を習得したいです。



病棟 看護助手  
木村 美穂 (きむら みほ)

①映画鑑賞、プチDIY  
②職員の対応が丁寧で、ロビーが広く清潔、患者さんが多く信頼されている印象を受けました。  
③これまで、介護助手としてサポートしてきた経験を活かし、清潔で快適な環境を提供します。



病棟 介護福祉士  
川上 陽子 (かわかみ ようこ)

①アウトドア、イベント巡り  
②見学の際、スタッフの方々が笑顔で優しく接してくれたので、とても良い印象を受けました。  
③患者さんの健康と笑顔の為に、全力で尽力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



外来 クラーク  
青木 かおる (あおき かおる)

①カラオケ、コンサートへ行くこと  
②病院内が明るく清潔でスタッフの方も親切だと感じました。  
③笑顔で心がけコミュニケーションを大切に、常に前向きに仕事に取り組んでいきたいです。



臨床工学部 臨床工学士  
松林 佳代子 (まつばやし かよこ)

①美味しいご飯屋さん探し  
②職員の方々がとても親切で、明るく雰囲気の良い病院だと感じました。  
③早く仕事を覚えられるように、精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。



医事課 医療事務  
吉岡 里織 (よしおか りお)

①音楽鑑賞、カラオケ  
②職員の方々がとても優しく丁寧に接してくださり、温かい雰囲気の病院だと感じました。  
③ご迷惑をおかけする事もあると思いますが、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



車輛 運転手  
奥田 和弘 (おくだ かずひろ)

①野球観戦  
②泌尿器・腎臓疾患、人工透析等で先進的な治療を行っている病院という印象です。  
③前職では、AIDラレコで運転を採点されていました。高須病院でも安全運転に努めます。



車輛 運転手  
河村 守泰 (かわむら もりやす)

①スポーツ観戦、野球と相撲、ジョギング  
②外観が椰子の木を植えて、ホテル見たいですね。  
③元気だけが取り柄です。



安芸診療所 看護師  
川竹 妃奈 (かわたけ ひな)

①  
②スタッフの方々が優しく打ち解けやすい、居心地の良い職場だと感じました。  
③これまでの経験を活かし、また新たな経験で患者さんにより良い看護を提供していきたいです。



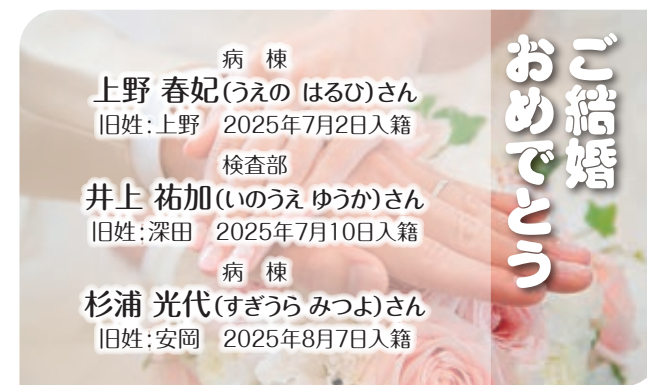
医事課  
中越 季花 (なかごし きか)  
2025年7月11日生まれ  
花鹿 (かしか) くん



病棟  
田淵 陽子 (たぶち ようこ)  
2025年8月27日生まれ  
みまり (みまり) ちゃん



おめでとう  
おめでとう



病棟  
上野 春妃 (うえの はるひ) さん  
旧姓: 上野 2025年7月2日入籍  
検査部  
井上 祐加 (いのうえ ゆうか) さん  
旧姓: 深田 2025年7月10日入籍  
病棟  
杉浦 光代 (すぎうら みつよ) さん  
旧姓: 安岡 2025年8月7日入籍

おめでとう  
おめでとう